

2020年12月25日

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD)



オンラインで開催した「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション/表彰式」大賞受賞者への表彰状授与の様子

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD) は、2020年12月18日(金)に「IAUD 国際デザイン賞 2020」の表彰式及びプレゼンテーションを開催し、成功裏に終了しましたので、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 日時: 2020年12月18日(金)17時~19時
2. 会場: Zoom によるオンライン開催
3. 参加人数: 世界13か国(イギリス、スウェーデン、イスラエル、アルゼンチンなど)から受賞者やIAUD 会員、報道関係者など約170人
4. プログラム: IAUD 国際デザイン賞 2020 結果発表・表彰状授与
IAUD 国際デザイン賞 2020 審査委員会による講評
大賞・金賞受賞者によるプレゼンテーション
5. 情報保障: 日本語と英語の同時通訳

6. 開催報告:

「IAUD 国際デザイン賞」は、持続的な共生社会の実現に向けた UD 活動の実践や提案を国際的に表彰するものです。回を重ねるごとに多様な分野での応募が増えており、これまでに UD への理解の高まりを実証するような優れた活動や製品が受賞してきました。

表彰式も 2017 年度はドイツ・ミュンヘン、2018 年度はタイ・バンコクと海外でも開催しており、毎回世界各国から多くの方にご参加いただいております。

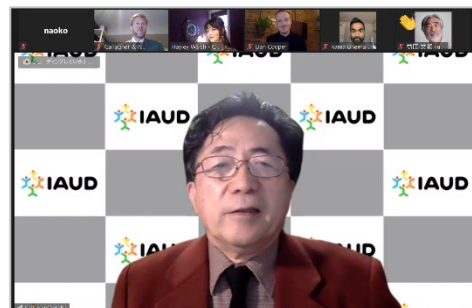
10 回目となる今回は、新型コロナウイルス対策のため初めてオンラインで開催したところ、世界 13 か国から受賞者や IAUD 会員、報道関係者など約 170 人が参加しました。

情報保障としては日英の同時通訳を設け、参加者は日本語と英語の音声を選択できるようにしました。

当日は司会進行の川原啓嗣専務理事/協同事業検討委員長(名古屋学芸大学大学院教授)より、まずは受賞結果が発表されました。

今回は世界 14 か国(アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、オーストリア、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、中国、ドイツ、日本、フランス、ラトビア)67 件のエントリーの中から、「IAUD 国際デザイン賞 2020 審査委員会」により「第 1 次審査(書類審査)」と「第 2 次審査(本審査)」が厳正中立に行われた結果、「大賞」1 件、「金賞」9 件、「銀賞」19 件、「銅賞」35 件が選出されました。

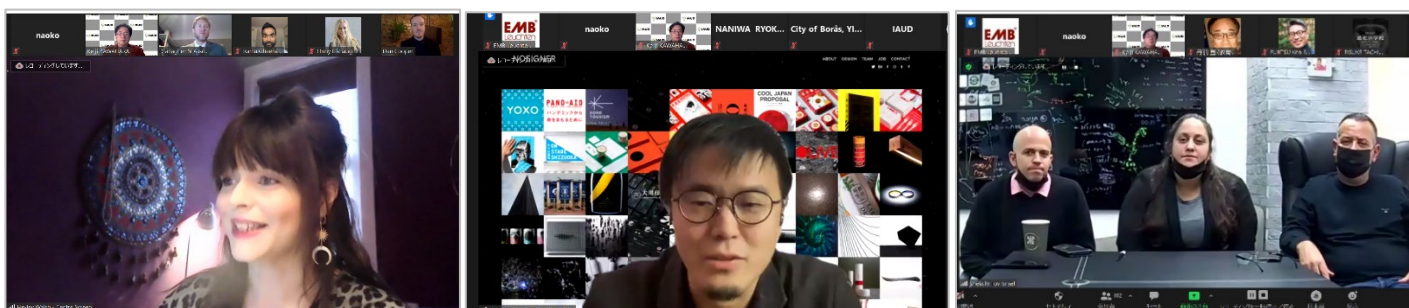
各賞が発表されると、主催者を代表して古瀬敏理事長より表彰状が読み上げられました。受賞者からは、「名誉ある賞をいただき大変光栄」「受賞を機にこれからも UD を広く届けたい」「取り組みが国際的にも認められたことはスタッフやユーザーにとって励みになる」など、喜びのお言葉を頂戴しました。



司会進行の川原専務理事



古瀬理事長と大賞の表彰状



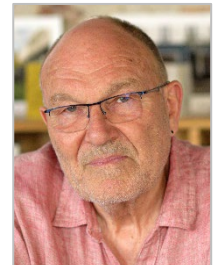
世界 13 か国から参加した受賞者の方々から喜びのお言葉を頂戴した

※受賞結果と審査講評の詳細は下記リンクをご覧ください。

IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞結果 <https://www.iaud.net/award/14663/>

IAUD 国際デザイン賞 2020 審査講評 <https://www.iaud.net/award/14839/>

その後、コールマン審査委員長(英国王立芸術大学院名誉教授)の講評がありました。コールマン審査委員長は、「今回のデザイン賞では、かつて UD 専門家が熱心に普及しようとした基本的なアクセシビリティ機能をはるかに超えた、多くの革新的なアイデアやコラボレーションが UD にもたらされている。これは、ユーザーをデザインプロセスの中心に据え、既存の規範的な手法からコラボレーションと共感を主軸とした実践に変えることで実現できた」と述べました。



コールマン審査委員長

さらに、益田文和副審査委員長((株)オープンハウス代表取締役)は、「今年度の受賞作品の多様性に目を見張るとともに、デザイン賞のアイデンティティを明確にして、応募内容や審査内容の明確化を行い、時代の流れに柔軟に対応してゆく必要がある」と述べました。



益田副審査委員

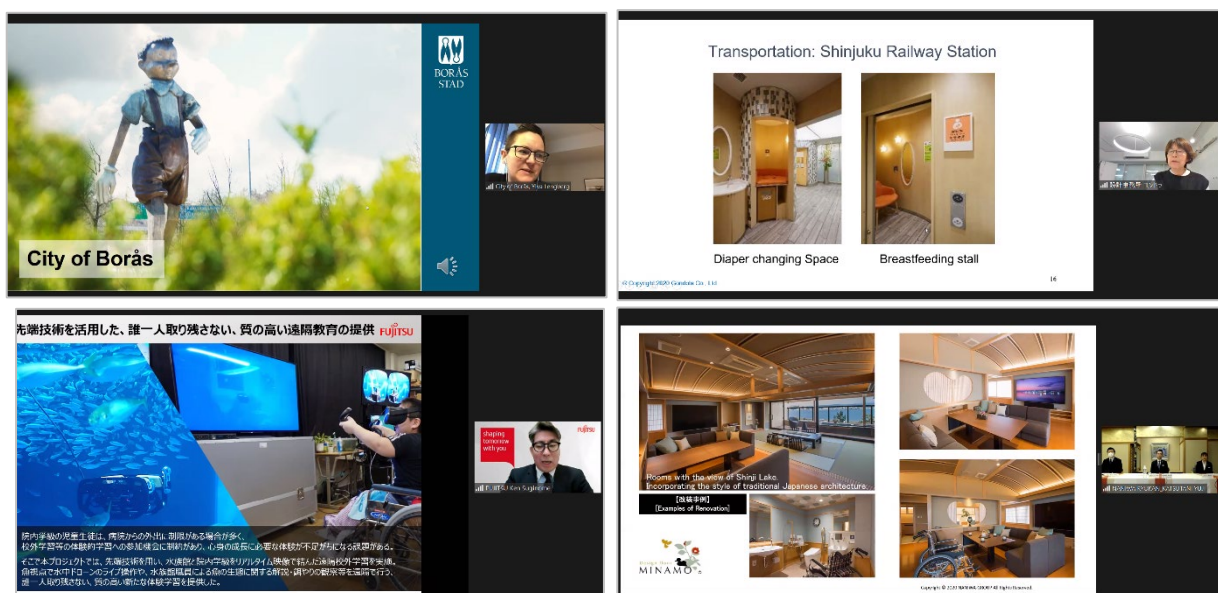
続いて、ヴァレリー・フレッチャー審査委員(米国人間中心デザイン研究所所長)、フランセスク・アラガイ審査委員(デザインフォーオール財団代表)、荒井利春審査委員(金沢美術工芸大学名誉教授)、オンニ・エイクハウグ審査委員(EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ会長)、ラーマ・ギーラオ審査委員(英国王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長)からもコメントが述べられました。



コメントを述べたフレッチャー審査委員、アラガイ審査委員、荒井審査委員、エイクハウグ審査委員、ギーラオ審査委員

最後に、「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション」が行われ、大賞 1 件と金賞 9 件の受賞者が世界各地からリモートで受賞した取り組みを紹介しました。^{※1}

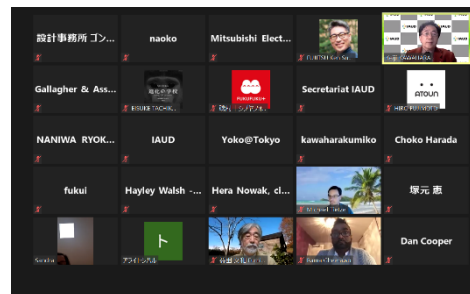
受賞者の皆様には非常にわかりやすく、素晴らしいプレゼンテーションをしていただき、UD について更に多くの方と興味を深め共有することができました。



世界各地から受賞した取り組みをプレゼンテーションする受賞者の方々

今回は初めてオンラインでの開催でしたが、地方や海外から多くの方にご参加いただきました。参加者からも、「スムーズでダイナミックだった」「とてもよくコーディネートされていた」「同時通訳の操作も簡単で使いやすかった」と大変良い評価をいただきました。

IAUD は来年も「IAUD 国際デザイン賞 2021」を実施いたします。ぜひ、多くの皆様に奮ってご応募いただきたくお願いいたします。



世界 13 か国から約 170 人が参加した

※1:大賞を受賞した「United States Olympic & Paralympic Museum (Gallagher & Associates and Centre Screen:米国・英国)のプレゼンテーションの際、受賞者の発言中に通訳音声がか切れたところがありました。以下に発言の和訳概要を掲載してお詫び申し上げます。

Gallagher & Associates のカール・ローズ氏:このプロジェクトは、最初からオリンピックとパラリンピック双方の選手の功績を公平に称えるものとして始まりました。健常者も障害者も全て温かく迎え入れ、一緒に楽しめるような体験のできる場所を作ろうと思いました。この視点は、プロジェクトの概念図作成から建築デザイン、展示物のプロトタイプ作成から体験テストなど、全ての段階に反映されました。途中、様々なフィードバックに対応し、継続的に調整を続けました。大規模で複数年にわたるプロジェクトだったため、様々なチームが皆で密接な連携を取りあったおかげで達成できたと思います。UD の原則を全面的に受け入れ、支持してくれた関係者の皆様にお礼を申し上げます。

Centre Screen ヘイリー・ロッシュ氏:私達はこのプロジェクトに参加する事で、全ての人にスポーツをという考え方を受け入れる良い機会を与えられました。人として成長し、学ぶ方法を模索し、またグローバルなコミュニティの中で今までに積み重ねられた知識や労力を正当に評価するいい機会でもありました。そして、既に存在している技術や視点を使い、全ての来場者にとって意味のある、総合的な体験を提供する事ができました。

IAUD International Design Awards 2020 – Citations

BRONZE AWARD

In the category of Product Design

Hari Mouse Co.,Ltd. receives a **Bronze Award** for:

HariMouse

Conventional scotch tape dispensers involve 3 operational steps, whereas "HariMouse" allows people to apply tape in just one action. As the operation is one-handed people previously unable to use conventional dispensers are no longer excluded.

The jury saw in this project:

A simple tool inspired by industrial tape dispensers that offers an alternative to the irritation and frustration experienced by many people. The jury hopes the success of this product will encourage the company to make a long-term commitment to Universal Design.

銅賞

プロダクトデザイン部門

ハリマウス株式会社

ハリマウス

従来のテープを貼るには3つの作業手順が必要ですが、ハリマウスは、ひとつのアクションだけで済みます。片手だけでできる作業なので、それまで従来のテープを貼ることができなかった人々が、その作業をできるようになりました。

審査員の視点:

産業用テープディスペンサーをヒントに作られたシンプルな道具で、多くの人が感じていた従来のテープに対する不満を解消できます。この製品の成功を機にハリマウス社がユニバーサルデザインに長期で取り組むようになることを審査員は期待しています。